

# 印刷文化典と私

全国グラビア協同組合連合会  
関東グラビア協同組合 前専務理事 村田英雄



この度は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、(一社)日本印刷産業連合会様より荣誉ある「印刷功労賞」という素晴らしい賞をいただき、格別のご高配を賜りましたこと重ねて御礼申し上げます。

さらに、(一社)日本印刷産業連合会主催2023年印刷文化典 記念式典において「印刷功労賞」の表彰をしていただけたこととなりましたが、私の記憶では第1回の印刷文化典から参加しており、印刷業界がデジタル分野や、IT新技術の発展に寄与し、現在の盛り上がりに参加できるのは感無量です。

さて、今般私儀永年皆様のご指導のもと、全国グラビア協同組合連合会 専務理事として組合運営の任に当たってまいりましたが、専務理事を退任させていただきました。永く業界に協力させていただき、人生のほとんどをグラビア印刷と共に永く歩んでこられた幸せ者と感じております。

全国グラビア役員、関東グラビア役員としての14年間、関東プラスチックの組合経歴も合せると、組合役員を30年以上年勤め、少しでもグラビア印刷の発展、向上にお役にたてればとの信条で過ごしてまいりました。

長い間、私を支えていただいた事務局の皆様や各種事務のお手伝いをいただいた皆様、そのほか数えきれない組合員の皆様には、言葉では言い表せない程たくさんのご協力をいただきました。

特に、歴代の会長さん、理事長さん、組合員さんにはいつも後ろ盾になっていただき、至らぬ私をカバーしていただきましたことについては、感謝してもしきれないほど、多々お世話になりました。

私も寄る年波には勝てず病を患い、任期途中ではありましたが、後任に急遽専務理事として袖山高明氏に就任してもらいました。任期途中の就任となり、ご迷惑を掛けることになりましたが、私同様のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

また、本誌面をお借りし、(一社)日本印刷産業連合会様はもとより、組合員、賛助会員、「経済産業省」「東京都」、その他関係各位の皆様には、厚く御礼申し上げます。

# GP JAPAN

全グラ情報

2023  
**10**  
No.275

全国グラビア協同組合連合会

## CONTENTS

<b>巻頭言 印刷文化典と私</b> .....	<b>1</b>
全国グラビア協同組合連合会 関東グラビア協同組合 前専務理事 <b>村田英雄</b>	
<b>全グラコーナー</b>	
全グラ・関東グラビア協組 合同理事会 外国人技能実習評価試験、大阪・岬研修センターが始動.....	4
<b>組合員・単組の近況</b>	
九州グラビア協同組合 製袋交流会報告 .....	7
<b>JFPI</b>	
2023年9月印刷の月印刷文化典 日印産連表彰に村田氏、石山氏、 4年振りに懇親会も開催 .....	10
2023GP 認定制度3賞決定 GP マーク普及大賞に 北四国グラビア印刷、準大賞受賞に巧芸社が受賞.....	17
第56回造本装幀コンクール表彰式 文科大臣賞など 全21作品入賞、日印産連会長賞は6作品 .....	34
「JFPI REPORT」連載、知財トラブル未然防止アドバイス、 記事全文を Web サイトで提供 .....	44
「営業・企画部門のためのすぐにわかる知的財産著作権」、 基礎編6タイトルを Web サイトに掲載 .....	46
<b>Data Watch</b> 2023年6月データ .....	<b>20</b>
紙・板紙／不織布／粘着テープ・シート類／プラスチックフィルム・シート／インキ／ ポリプロピレンフィルム／印刷加工機械／印刷機械輸出入／アルミ箔／ポリオレフィンフィルム	
<b>紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷</b> 2023年7月データ .....	<b>26</b>

今月の  
表紙



2023年9月13日（水）にホテルニューオータニで開催された日印産連主催の「2023年印刷文化典」と懇親会の様子。詳細は本文10頁参照

## WE LOVE GRAVURE

GP 認定制度申請についてのお願い	30
GP 工場認定制度のご案内	32
厚生労働省 2023年度地域別最低賃金、 全国平均で43円引き上げの1004円に	40
<b>Packaging</b>	
100% VOC フリー水なし EB オフセット印刷で食品包装を実用化 東レ・ITP Foods	39
英国 Skymark Packaging を買収 凸版印刷	42
<b>DX ソリューションシステム「SaTeras」を開発</b> 東洋製罐グループホールディングス	43
<b>ラベル製品の資源循環に取り組む「J-ECOL」に参画</b> DNP データテクノ	48
<b>Information</b>	
JPI、10月24日・26日にウェブセミナーを開催	38
SCREEN GA、軟包装向け高速水性IJ印刷機の販売開始	40

GPJAPANは全国グラビア協同組合連合会が発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで15,000円+税です。

購読および広告出稿を希望される方は、  
**全国グラビア協同組合連合会**  
e-mail:zenkoku-grv@utopia.ocn.ne.jp  
http://www.gcaj.or.jp/  
までご連絡下さい。

本文ページの紙は、無塩素漂白パルプから作られたものを使用しています。

発行：2023年10月10日  
発行人：田口 薫（全国グラビア協同組合連合会会長）  
発行所：全国グラビア協同組合連合会  
〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9  
あさひ墨田ビル  
TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814  
編集スタッフ：袖山高明（全国グラビア協同組合連合会専務理事）  
村田英雄（全国グラビア協同組合連合会顧問）  
渡邊富美子、酒井由香（同事務局）  
編集協力：(株)加工技術研究会  
印刷：(株)遊文舎

© 全国グラビア協同組合連合会2023

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPANの無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

全グラ・関東グラビア協組 合同理事会

## 外国人技能実習評価試験 大阪・岬研修センターが始動

全国グラビア協同組合連合会（田口 薫会長）と関東グラビア協同組合（吉原宗彦理事長）は、2023年9月13日（水）午後1時～2時30分まで、東京・ホテルニューオータニ「ラピス I」において、合同理事会を開催した。当日の出席者は、全グラから、田口 薫会長（関東グラビア協組、大日本パッケージ株）、安永研二副理事長（同、東包印刷株）、竹下晋司副理事長（関西グラビア協組、株ダイコー）、石井 純副理事長（関東プラスチック印刷協組、株多漣堂）、杉山真一郎副理事長（東海グラビア印刷協組、富士特殊紙業株）、母里圭太郎副理事長（九州グラビア協組、株平野屋物産）、若狭博徳副理事長（北海道グラビア印刷協組、株北海サンコー）、吉原宗彦理事（関東グラビア協組、東京加工紙株）、山下雅稔理事（同、株巧芸社）、川田雄治理事（同、トーホー加工株）、東 勇一理事、（関東プラスチック印刷協組、株トーショー）、市村清一理事（埼玉県グラビア協組、株ダイトー）、佐伯陽子理事（同、株佐伯紙工所）、浮田信也理事（東海グラビア印刷協組、大和産業株）、奥田拓己理事（関西グラビア協組、株北四国グラビア印刷）、高桑真樹理事（同、株ダイドー）、賀谷真尚理事（北陸グラビア協組、賀谷セロファン株）、中村政晃理事（九州グラビア協組、株三裕商会）、袖山高明専務理事、都築晋平外国人技能実習制度担当顧問の20名、関東グラビア協同組合からは、橋本 章理事（橋本セロファン印刷株）、小林直人理事（八潮化学株）、村野 剛理事（信和産業株）、諸石 武士理事（日本パッケージング株）、福島 潤理事（株東和プロセス）、佐藤裕芳監事（株千代田グラビヤ）の6名、計26名が出席した。

### 2023年日印産連表彰、印刷産業環境優良工場表彰について

田口 薫会長の挨拶に続き、1つ目の議題「2023年日印産連表彰について 印刷功労賞・印刷奨励賞・第21回印刷産業環境優良工場表彰」につい



て、橋本 章理事より次のような説明があった。

「この表彰は21年前にスタートした。グラビアは環境負荷の高い工場が多いので積極的に参加していただいた。現在すでに全グラの工場のうち3割近くが受賞している。一生懸命に取り組んでいるが、ここ数年は各企業にこちらから応募の願いをしている状況であった。来年は表彰自体が見合わせとなり、今後の方向を準備をすることになった」。

続いて、袖山高明専務理事より日印産連表彰者の紹介が行われた。「印刷功労賞を受賞した村田英雄さんは今日の受賞を楽しみにしており、息子さんの介添えで出席される予定であったが、体調が悪くなり残念ながら欠席となった。祝電等は娘さんを通してお届けできるので、袖山まで連絡をい

たきたい」。

### GP 環境大賞等の表彰式等について

GP 環境大賞等表彰式、トークショーについて山下雅稔理事より報告が行われた。

「これまでGP 環境大賞、GP マーク普及大賞、GP 資機材環境大賞は、できるだけ多くの企業・団体を対象にしてきたが、パッケージ部門が設けられたり、GP マーク普及大賞にもオフセットやグラビア部門などが創出され、全体の受賞企業がかなり拡大したため、今年から表彰の基準に則り、できるだけ基準の数を絞っていくこととなった。GP 環境大賞はジェイアール東日本企画などの大手企業がGP マークを付けてくれるようになってきているが、日印産連HPにはGP マークを付けてくれている会社を、GP の応援団としてアップしているの、そちらもご覧いただきたい。

グラビア・シール部門は、北四国グラビア印刷さんが、昨年に引き続きGP 普及にご尽力いただき受賞された。おめでとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

また、GP 周知WGの今年度の新たな取り組みとして、FMヨコハマで小山薫堂GPPR大使がDJを務める番組の中で、GPのミニコーナーが9月限定5週連続で放送されていることを紹介。「日印産連提供で、9時35分から10分前後、GPの紹介をしてもらっている。1週目は大使がGPを紹介、2週目は『デザインのひきだし』編集長の津田淳子氏が出演。以降、GP推進部会の委員長、印刷博物館の学芸員、環境大賞の受賞企業として日本航空を予定している。さらに10月18日には、3賞の表彰式とトークショーをDNP 佐内町ビル・ホールで開催する。ぜひ、ご参加いただきたい」。



### 「外国人技能実習制度」実施実績と大阪試験会場について

袖山専務理事より、外国人技能実習制度等の説明が行われた。

「2023年度は179名の試験を実施予定。9月13日時点で147名が終了、残り24名となっている。

来年度もずらっと受検者が控えている。在留期限前には必ず試験を実施しなくては行けないが、都築晋平担当顧問の尽力のおかげでようやく追いついた状況。それとともに、監督者の方の協力もある。まだ実稼働監督者の数は少ないが、有資格者の方は増えている」。



大阪・岬研修センター

#### 岬研修センター・グラビア評価試験会場

大阪の岬研修センター・グラビア評価試験会場（大阪府泉南郡岬町淡輪6092-3）について、竹下晋司副理事長が次のようにコメントした。「ようやく岬会場が立ち上がり、2回の試験が遂行できた。関西圏はこのセンター、あるいは自社を使う、と

いう選択肢を増やしている。内部は簡単な軟衛協クラスに整備し、田口会長にも見学してもらい了承を得た。監督官としては当社の木地隆司が関西をまとめる。また、他にも監督官に名乗りをあげていただいた方もおり、できるかぎり人を増やしていこうと取り組んでいる。袖山専務理事、都築顧問に遠いところまで来てもらわなくてもいいようにやっていきたい。東海、九州からも監督官の方にご尽力をいただいているが、さらに増えていけばスムーズに進行できるのではないか」。

併せて、都築顧問より、試験でのインカム導入、土日試験の実施、出張試験日程の短縮などの検討課題も挙げられた。

#### 「監督者・事務局員並びに大阪岬試験会場 報酬及び運用 規定（案）」、「特定技能」指定職種への認定活動について

決議事項として、袖山専務理事より、「監督者・事務局員並びに大阪岬試験会場 報酬及び運用 規定（案）」について説明が行われ、続いて、「特定技能」指定職種への認定活動について報告が行われた。



# 組合員・単組の近況

九州グラビア協同組合

## 製袋交流会報告

九州グラビア協同組合（母里圭太郎理事長、㈱平野屋物産）は、2023年9月22日（金）午後5時より、福岡市博多区「八仙閣」において製袋各社との交流会を開催しました。

事務局が司会進行を務め、開催に際し、母里圭太郎理事長が、「グラビアの組合の枠を超えて製袋業の方々にもご参加いただきました。印刷から製袋までの工程間の連携を取ることが、製品品質の向上・生産効率の向上に大変重要です。人手不足問題への対応についても、有意義な情報交換をすると同時に、製品品質の向上（ロスを減らす）、生産効率の向上（無駄なやりとりを減らす、省力化を図る）への取り組みは有効な手段となると思います。パッケージ製造に携わる業界全体の役に立つことができれば幸いです」と挨拶をしました。

続いて、九州エリアの製袋各社へのお声かけを

行っていたいた(株)日本包装リースの森永営業開発部長のお話と、製袋各社より参加者のご紹介をいただきました。



事務局の司会で  
交流会がスタート



九州グラビア協同組合の  
母里理事長





(株)藤井包材の藤井社長



(株)マエダシールの前田社長



(有)森製袋の野中社長



(株)南部の南部取締役工場長



(株)辻原製袋の辻原社長



(株)辻原製袋の辻原取締役



製袋各社の皆さんと水本製袋工場の水本代表

(株)日本包装リースの森永営業開発部長の講話を以下に抜粋します。

~~~~~  
(前略)

製袋加工業の多くは食品袋を作っており、ご存知の通り食品の流通や保存には欠かすことのできない業界とっております。勿論、重要な工程である事を認識した上で業務に取り組んでおりますが、最近では製袋加工業界を取り巻く環境がどんどん厳しい状況となっております。



(株)日本包装リースの森永営業開発部長

(中略)

長年に亘り、製袋加工の会社様には大変お世話

になっておりますので、業界の情報交換の場として2004年2月に初めて製袋親睦会を開催し、製袋加工業界の情報共有・問題対策の場として続けさせていただいております。今年7月1日に東京で開催した製袋親睦会は32回を数え、57社82名のご参加をいただきました。32回製袋親睦会には本日のご縁を作っていた全グラの田口 薫会長にもご参加いただいております、福岡で開催した31回製袋親睦会の記事(包装タイムス)を見て「軟包装資材業界の抱える問題点は印刷業界でも同じであり、オールジャパンで問題解決に取り組もう」と、情報共有のお誘いをいただきました。

同じ軟包装資材業界でありながら、最初の工程のグラビア印刷と最終工程の製袋加工では、考えや扱いの違いがあるかも知れません。しかし、品質保証・人手不足・工賃単価等、どの業界も同じような問題を抱えていると思います。本日は製袋



加工会社様も数社参加させていただいておりますので、情報共有の場として皆様と有意義な時間を過ごさせていただけたらと思います。

~~~~~  
製袋各社紹介の後、(株)南部の南部取締役工場長より乾杯のご発声をいただき、宴が始まりました。賑やかに歓談が続き、普段あまり顔を合わせる機会のなかった方々と交流を深めることができました

た。中締めは、九州グラビア協同組合の中村政晃副理事長（株）三裕商会）が「元気が一番」と万歳三唱にてお開きとなりました。



乾杯の発声を務めた  
南部の南部取締役工場長



締めの挨拶は中村副理事長。「元気が一番」の掛け声で万歳三唱

## 2023年 9月印刷の月印刷文化典 日印産連表彰に村田氏、石山氏 4年振りに懇親会も開催

(一社)日本印刷産業連合会の「2023年9月印刷の月印刷文化典」が、2023年9月13日(水)午後2時45分より、東京・ホテルニューオータニ「鶴の間」において開催され、日印産連傘下10団体の会員、来賓、業界関係者390名が参集しました。なお、当日は同式典に先立ち、午後1時30分よりダイヤ精機株の諏訪貴子代表取締役による講演会、午後4時30分より4年振りとなる懇親会も開催されました。

### 会長挨拶

開会にあたり、(一社)日本印刷産業連合会の北島義斉会長(大日本印刷株)が次のように挨拶を行いました。



「今年の9月印刷の月は、4年に一度の印刷文化典に当たります。皆様  
の多大なるお力添えのもと、この記念式典を開催できることを心から感謝申し上げます。本日、印刷業界に多大なる功績を残され日印産連表彰を受賞された皆様、環境配慮などで模範となる環境優良工場表彰を受賞された皆様、誠におめでとうございます。これからも業界の発展に力を尽くされることに期待しております。

記念講演会では、ダイヤ精機の諏訪貴子代表取締役に大変貴重なお話をいただきました。ご自身のリーダーシップのもとで、工場の経営改革に挑んで、他社のモデルとなる企業へと変貌させたこと、社員の意識改革や人材採用をはじめ、常に新

たな改革に取り組んでいることなど、示唆に富んだお話をうかがうことができました。私達自身もさらなる改革に挑戦していきたいと思っています。

国内では新型コロナウイルス感染症が5類に移行して、行動制限が緩和され、個人消費やインバウンド需要が増加するなど、社会全体で回復傾向になり、製造業でも半導体の供給不足の緩和などによって業績の改善が見られています。一方、原材料やエネルギー価格の高止まり、労働人口の不足や、物流の2024年問題、気候変動、地球温暖化など、印刷産業にも大きな影響が懸念される問題が続いています。こういった状況の中で、これからの印刷産業がより良い未来を切り拓いていくには、人々の暮らしや社会の変化を的確に捉えてDX(デジタルトランスフォーメーション)や人工知能の進展などを追い風にしていくことが大切です。生産性の向上や業務プロセスの最適化、労働力不足解消などの課題に対し、DXやAIは大きな効果を発揮すると思います。AIは文章や画像などを対話形式で自動生成するまでになり、人と人のコミュニケーション活動に深くかかわっている印刷産業としては、そのメリットを十分に生かしていく

必要があると感じています。

また、今年の夏の猛暑や各地の自然災害を考えると、環境に優しい素材、製品サービスの開発、リサイクルの推進、エネルギー効率の向上など、持続可能性を高める取り組みも加速させなければと考えています。社会課題の解決が期待される中、印刷産業が果たすべき役割はこれまで以上に重要になってくると思います。

日印産連は現在、SDGsの目標達成年2030年の印刷産業のあるべき姿を見据えて、未来を切り拓く新しい印刷産業の実現に向けて議論を深めています。これまでの印刷を再定義して、さらなる事業領域の拡大や付加価値創出を進め、持続可能な環境、社会、経済の実現に取り組み、引き続き、会員10団体の皆様と連携をさらに深めて、世の中と業界の発展に努めて社会的な責任を果たしていきたいと思っておりますので、各団体にはさらなる活動の推進を期待しています」。

## 祝辞

続いて、来賓代表として、**経済産業省商務情報政策局の牛山智弘審議官**より、次のような祝辞が述べられました。

「印刷産業は商業印刷、出版印刷をはじめとして私達の身の回りの多くのものに関わっており、その地域の顧客のニーズや昨今の産業構造に合わせた多様な事業展開は、日本のサプライチェーンにおける重要な位置を占めると同時に国民生活を支える重要な産業です。その中で貴連合会は傘下10団体、会員企業6371社を束ねる印刷産業界の中心として、印刷産業だけでなく関連産業の振興にも不可欠な存在です。

貴連合会は昨年より「Change Together 感動



と夢を与える新しい産業へ、共に進化しよう」をスローガンに掲げて、新体制の下、2030年を見据えた印刷産業のあるべき姿を描く、新たなグランドデザインの今年度内の策定に向けて検討を進めていると承知しております。エネルギー価格、原材料価格の高騰、紙の印刷需要の減少など、厳しい環境の中で印刷産業の持続的な成長がなされますよう、経済産業省としてもしっかりと応援させていただきます。

具体的には、貴連合会が取り組んでいる印刷産業を含めたコンテンツ業界のDX支援や事業再構築支援、生産性向上のための設備投資支援等の補助金を措置しております。印刷業の枠を超えた新しい価値の創出や印刷産業全体としての生産性向上と付加価値創出に取り組んでいただき、我が国の経済の牽引役になっていただくことを期待しています。また、経済産業省は昨年度、印刷業界の皆様とともに、下請ガイドライン改定案および印刷業界における取引改善等に向けた方策を検討さ

せていただき、下請ガイドラインを改定しました。日本印刷産業連合会はじめとした皆様にご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。今後も下請取引の適正化に向けて、業界の皆様と強く連携して取り組んでいく所存です。

全国各地域に根差し、事業を展開される印刷業界の皆様のご活躍なくして日本経済の成長はありません。今後も地域から日本を元気にしていただくことを期待しています」。

## 日本印刷産業連合会表彰

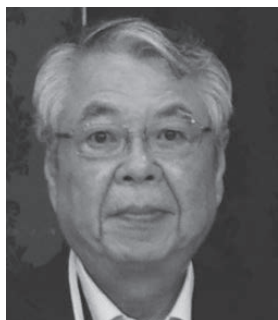
長年にわたり、印刷産業の発展に貢献された個人・団体に対して顕彰する制度で、今年度は、4年に一度の印刷文化典のため、印刷文化賞3名、印刷功労賞13名、印刷振興賞18名、特別賞1名1団体が表彰を受けました。全国グラフィア協同組合連合会組合員からは2名が受賞の栄に浴されました。受賞者は以下の通りです。



### 〈印刷功労賞〉

村田英雄

全国グラフィア協同組合連合会 前専務理事、教育・情報担当顧問



### 〈印刷振興賞〉

石山正明

全国グラフィア協同組合連合会、トーホー加工(株)小山工場 技術顧問



### 〈受賞者代表謝辞〉

印刷文化賞を受賞した凸版印刷株の金子眞吾代表取締役会長が、次のような謝辞を述べられました。

「我々印刷産業は、グーテンベルクの時代から情報と文化の担い手として印刷テクノロジーを核に様々な技術革新と新サービスの開発によって、産業界や人々の暮らしに極めて重要な役割を果たしてきました。この10年は社会の急速なデジタル化、ネットワーク化に加え、地球環境問題やコンプライアンス、ダイバーシティなどSDGsへの対応についても取り組んできました。受賞者はそれぞれが様々な分野でその一翼を担ってきましたが、これをこのような形で表彰されることは身に余る光栄でございます。これも本日ご臨席の皆様のご支援とご協力の賜物と存じ、心から感謝と御礼を申し上げます。

近年は社会のデジタルトランスフォーメーションやAIの進展によってコミュニケーションの在り方

が激変し、印刷需要は縮小傾向と云われますが、印刷産業の使命であり、最大の強みはコミュニケーションやお客様の情報プロセスを最適化し課題解決することです。その意味で社会のデジタル化は印刷産業にとって大きなチャンスであり、この改革を推し進める力があると信じています。これまで培ってきた情報デザイン力と課題解決力でデジタル社会に対応した新たな印刷産業へと進化発展することを願っております。受賞者一同は本日あらためて印刷産業の未来に向け、さらなる精進をして参ります」。

### 第21回印刷産業環境優良工場表彰

一般部門、小規模事業所部門合計36工場の応募の中から、経済産業大臣賞1工場、会長賞3工場、奨励賞8工場、計12工場が表彰されました。

### 〈受賞者代表謝辞〉

経済産業大臣賞を受賞した(株)研文社尼崎工場の長谷川博明取締役執行役員が次のような謝辞が述べられました。

「弊社が本取り組みを開始したのは平成27年第14回表彰で埼玉工場が奨励賞を受賞させていただいたことに始まります。そこから、基幹工場である尼崎工場でも取り組みを開始して、第17回の会長賞、第18回の局長賞を受賞させていただきました。ですが、弊社トップからの金メダルを取るまで本取り組みを止めるなという、強い意志を受け、チャレンジを続けた結果、ついに今回の経済産業大臣賞までたどり着くことができました。

これは、成功するまであきらめないという思いで、工場に従事する社員だけではなく、全社員が取り組み続けた結果だと自負しております。



また、弊社が昨年末に発足した日本サステナブル印刷協会に参画して、工場運営のCO<sub>2</sub>ゼロ化、それによって印刷物の生産における案件単位のCO<sub>2</sub>排出量を算定できるようになったことも本受賞に大きく寄与していると考えております。

本協会は第19回局長賞を授与された(株)光陽社様、今回会長賞を授与された(株)丸信様を含めた正会員11社、賛助会員3社にて環境に配慮した印刷普及を図り、印刷業界における持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進することで、印刷業界の健全な発展と社会貢献の寄与、これを目的として運営されています。

さて、印刷物をはじめとする紙製品が環境に良くないというイメージが、紙離れにつながってしまっている現況には苦々しい思いが尽きないのですが、紙業界として環境に対するアピールが不足していたこともまぎれもない事実だと考えています。

業界として環境貢献を対外的に発信することももちろん必要ですが、環境への積極的な取り組みがビジネス面での成功につながった事例こそが、環境取り組みが拡大していく近道になるのではないかと考えています。環境取り組みには目標こそありますが、終わりはないと考えております。印

刷業界全体を口にするのはおこがましいのですが、弊社が大臣賞受賞までたどり着くことができたように、業界としても成功するまで諦めず、環境配慮に取り組み続けることが紙離れに対抗する手段、戦略になるのではないのでしょうか」。

## 懇親会

午後4時30分から、懇親会が開催されました。開会に当たり、日印産連の堆 誠一郎副会長が次のように挨拶。

「今日、受賞された方は10団体、日印産連を引っ張ってくれた方々です。

今があるのはこの方々のおかげだと思います。引き続き、この業界がもっと発展するようにご指導いただきたいと思います。

資源高など、大変な状態です。印刷業界は、世間からは古い業界のような言い方をされて、雇用の確保が大変なのもそのせいではないかと思いますが、実際には皆様、DXや生成AIなどを考えている、どちらかというと先端企業集団ではないで



しょうか。

今日の講演の諏訪貴子さんのお話パワーがすごかったです。会社改革はパワーがなければ、なかなかできないと実感しました。その中で社員一同で会社を変えていく。10団体もSDGsの考え方にもあるように、1社も遅れることなく全社一致で困難をクリアしていきましょう。

懇親会は4年振りです。みんなで意見交換し、一致団結してがんばっていききたいと思います」。

## 乾杯の発声

続いて、乾杯の発声を  
**(一社)日本印刷産業機械工業会の森澤彰彦会長**  
が務めました。

「本日、各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。また、かくも盛大に9月印刷の月・印刷文化典が開かれたこと、お喜び申し上げます。



新型コロナも5類に移行し、大分人出が出てきて、街中も活気を帯びてきました。日本印刷産業機械工業会の事務所の目の前の東京タワーにも、毎日国内外の観光客が押し寄せている状態です。終わりの見えないロシアによるウクライナ侵攻や急激な為替相場の変動、資源高などが印刷関連業界の大きな足かせになっていることも事実です。難しい舵取りを迫られていますが、日印産連が掲げる『アフターコロナプロジェクト』を通じて、私どもも進化を一緒にさせていただき、さらなる印刷業界の発展に努めていきたいと思っています」。



## 中締め

4年振りの懇親会ということで、会場一杯に賑やかな歓談の輪が広がる中、衆議院議員の海江田万里氏と山田美樹氏が駆け付ける一コマもありました。

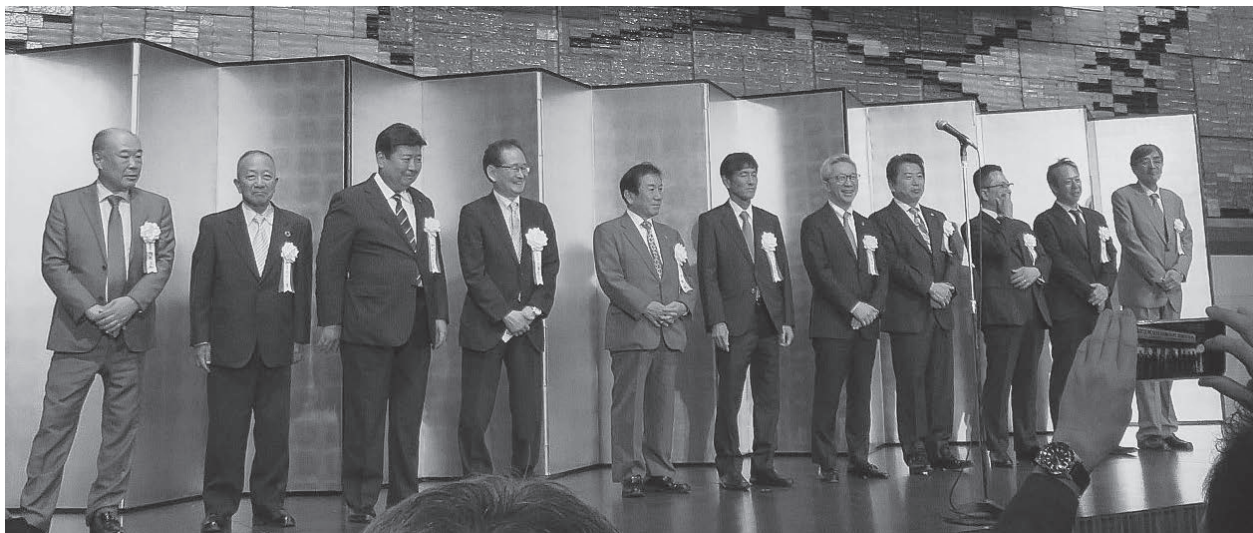


海江田万里氏（左）と山田美樹氏

宴もたけなわ、日印産連10団体の会長が登壇、**日本フォーム印刷工業連合会の小谷敬二会長（日印産連副会長）**が次のような中締めの挨拶を述べ、三本締めで閉会となりました。

「今日は文化の継承と未来への進化というキーワードにおいて、非常に重要なスタート地点だと思

っています。1つの会社、1つの団体が超えることができない大きな波も、数百社、10団体がまとまれば必ず超えることができると信じております。日印産連と10団体が結束して、無限の可能に挑戦していきたいと思います」。



10団体の会長と日印産連の北島会長が登壇



## 2023GP認定制度3賞決定

# GPマーク普及大賞に北四国グラビア印刷 準大賞受賞に巧芸社が受賞

(一社)日本印刷産業連合会(日印産連)は、グリーンプリンティング(GP)認定制度の2023年度「GP環境大賞」「GPマーク普及大賞」「GP資機材環境大賞」の受賞者(※各賞とも五十音順)を以下の通り決定した。表彰式は2023年10月18日(水)に東京・DNP佐内町ビル・ホールにおいて実施する。

### GP環境大賞

印刷業界が地球環境への負荷低減に取り組むために創設したGP認定制度に対し、深い理解と同制度を積極的に活用している企業や団体に敬意と感謝の意を込めて贈るもの。2023GP環境大賞は、2022年度(2022年4月~23年3月)にGPマークを表示した印刷製品をより多く発行した企業・団体を表彰する。

また、パッケージを中心にGPマーク表示が急拡大する中、表彰の対象を一般印刷とパッケージ印刷の2部門に分けるとともに、過去3回GP環

境大賞を受賞した企業・団体には、4回目の表彰時にその活動に対して最大の賛辞と敬意を表するために「GP環境大賞ゴールドプライズ」を贈呈している。

さらに、今回から、GP認定制度の普及・拡大に特別な貢献が認められた企業・団体に対して「GP環境大賞特別賞」「GPマーク普及大賞特別賞」を贈呈することになった。

### GP環境大賞ゴールドプライズ

本年度は該当なし



## 一般印刷の部

### 2023GP 環境大賞 (3社)

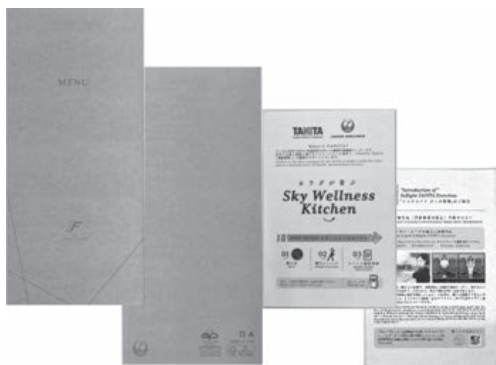
あいおいニッセイ同和損害保険(株)、東武鉄道(株)、日本航空(株)



あいおいニッセイ同和損害保険(株)



東武鉄道(株)



日本航空(株)

### 2023GP 環境準大賞 (5社・団体)

社会福祉法人恩賜財団済生会、(株)ジェイアール東日本企画、全国間税会総連合会、(株)ポストイングセンター沖縄、HOYA (株) アイケアカンパニー

## パッケージ印刷の部

### 2023GP 環境大賞 (1社)

(株)あわしま堂



(株)あわしま堂

### 2023GP 環境準大賞 (2社)

国分グループ本社(株)、竹下製菓(株)

### 2023GP 環境大賞特別賞 (1社)

プレミアムアンチエイジング(株)

## GP マーク普及大賞

GP マーク表示にもっとも貢献した GP 認定工場を他の模範として表彰するもの。2023GP マーク普及大賞は、2022年度に GP マーク表示印刷製品をより多く受注・製造した印刷会社を表彰する。本賞は、オフセット印刷部門、グラビア・シール・スクリーン印刷部門、製本・表面加工部門の3部門に分けて表彰する。

なお、過去3回以上 GP マーク普及大賞を受賞した印刷会社で継続的な実績が認められた場合には、最大の賛辞と敬意を表するために、今回から

新たに「GP マーク普及大賞ゴールドプライズ」を新設し、贈呈することになった。



### 2023GP マーク普及大賞ゴールドプライズ (2社)

NTT 印刷(株)、六三印刷(株)

#### オフセット印刷部門

### 2023GP マーク普及大賞 (3社)

(株)笠間製本印刷、(株)文伸、丸正印刷(株)

### 2023GP マーク普及準大賞 (6社)

あさひ高速印刷(株)、伊藤印刷(株)、岩岡印刷工業(株)、(株)大川印刷、(株)精英堂印刷(株)、(株)太陽堂印刷所

#### グラビア・シール・スクリーン印刷部門

### 2023GP マーク普及大賞 (1社)

(株)北四国グラビア印刷

### 2023GP マーク普及準大賞 (1社)

(株)巧芸社

#### 製本・表面加工部門

### 2023GP マーク普及大賞 (1社)

TAD クロスメディア(株)

### 2023GP マーク普及大賞特別賞

本年度は該当なし

### GP 資機材環境大賞

印刷工場環境負荷低減および作業環境改善に貢献し、GP 資機材認定製品を積極的に提供いただいている資機材メーカーに贈るもので、2023年4月1日時点で GP 資機材認定製品の登録が最も多い資機材メーカーに対し、資材、機材の部門別に表彰する。なお、同賞は、過去に同部門を受賞したメーカーは選考対象外となる。



#### 資材部門

### 2023GP 資機材環境大賞 (1社)

ウエノ(株)

#### 機材部門

### 2023GP 資機材環境大賞 (1社)

富士フィルム(株)